



花水木のキャラクター  
「ミスキちゃん」



### クイズ

来年の参議院議員選挙は、選挙権が18歳に引き下げられる予定です。小松島市の18歳と19歳の選挙権を持つ見込みの人は何人でしょう。

- ① 630人
- ② 730人
- ③ 830人

応募資格  
(市内在住の方)

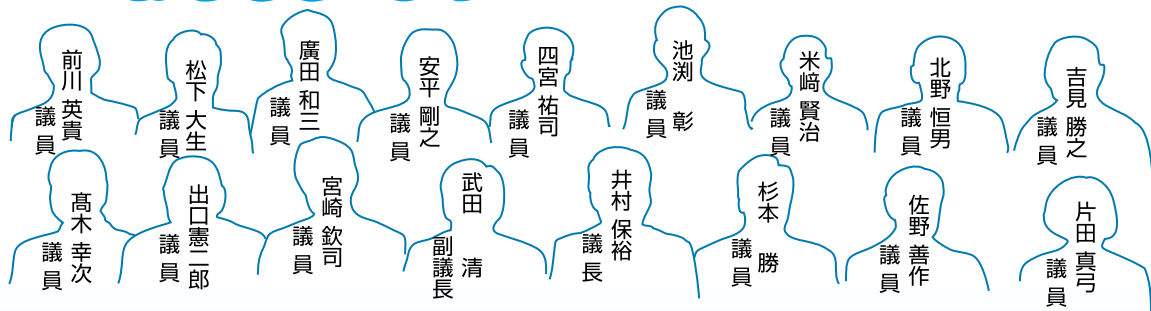
※答えを書いてはがきに住所・氏名・年齢を記入抽選で5名様に図書カード1000円分プレゼント!

あて先  
〒773-8501  
小松島市横須町1番1号  
小松島議会事務局 宛  
(締切日・8月31日消印有効)

前回の答え

- ① チリメン
- ② 菌床シイタケ

## 新体制スタート!



### 新人2名 元職2名 迎え17名

### 一丸となって、開かれた議会を目指す!!

#### ----- 目 次 -----

議会新体制 -----	2	一般質問(6月定例会義) -----	10
常任委員会報告(3月) -----	4	平成26年度 政務活動費報告 -----	18
特別委員会報告 -----	7	賛否表 -----	19
常任委員会報告(6月) -----	8	9月定例会議 日程 -----	20

# 市民の負託に決意新たに

## 議長に井村 保裕氏

## 副議長に武田 清氏

監査委員

前川 英貴

第2回臨時会議が5月8日に開かれ

新議会の活動がスタートしました



井村議長

このたび、5月臨時会議におきまして議長に就任いたしました。身に余る光栄とともに、改めてその責任の重さを感じています。また、選挙の折には大きく報道されましたが、市民の皆様には、多大なるご心配とご迷惑をおかけしましたこと、この場をおかりいたしまして心よりお詫び申し上げます。これからは議会に対する信頼回復に向けて議員一丸となって取り

組んでまいりますので、ご理解とご指導のほどよろしくお願いいたします。さて、国では地方創生という名のもと、東京一極化の是正と地方の活性化をうたっています。新交付金として1兆円を余る予算を付けています。本市におきましても人口は4万人を切り、これからの新しいまちづくりが喫緊の課題となっています。特にこの一年はこれからの本市のまちづくりの方向性を決める重要な期間になります。ひと・まち・しごと総合戦略策定が義務づけられています。議会としても、地方創生まちづく

り特別委員会を立ち上げ取り組んでまいります。地方が知恵を出せばそれに予算が付きまします。現場の声を施策につなげ、地域の活性化につなげていかなければなりません。そして、今の時代とそその地域に合ったまちづくりでなければなりません。これからも、議会報告会や議員との意見交換会、ふれあいコンサート等のイベントも含めて、議会としてさらなる「身近な議会・市民のための議会」となりますよう取り組んでまいります。市民の皆様のご参加をお待ち申し上げます。

このたび、栄誉ある市議会副議長に御選任を賜り、大変光栄に存じます。小松島市では、小松島南中学校の建設や葬斎場の建設など、大型公共事業の工事中であります。また地方創生の取り組みなど、大変重要な時期になっております。議長を補佐し、皆様方のお力添えをいただきながら、円滑な議会運営と議会のさらなる活性化に努めてまいりる所存であります。どうか市民の皆様におかれましては、今後とも、なお一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



武田副議長

このたび、議員各位のご推挙をいただき、監査委員に選ばれましたことは、この上ない光栄に存じますと同時に、責任の重大さを痛感しているところでございます。

監査委員として今後なすべきこと、監査の立場から指導的機能を発揮することなど、各地方公共団体の会計規程に従って適正な予算・決算であるか、また各契約の締結内容が適正に行われているかなどを対象に、識見を有する監査委員とともに精いっぱい確認をしていきたいと思っております。

# 委員会構成

## 総務常任委員会

総務部、水道部、  
会計の所管及び  
消防に関する事  
項

委員長 北野 恒男  
副委員長 佐野 善作

委員長	北野 恒男	副委員長	佐野 善作	委員	廣田 和	委員	前川 英貴	委員	吉見 勝之	委員	杉本 勝	委員	池淵 彰	委員	安平 剛之
-----	-------	------	-------	----	------	----	-------	----	-------	----	------	----	------	----	-------

## 予算決算常任委員会

予算、決算その  
他、財政に関す  
る事項

委員長 安平 剛之  
副委員長 北野 恒男

委員長	安平 剛之	副委員長	北野 恒男	委員	廣田 和	委員	前川 英貴	委員	片田 真弓	委員	吉見 勝之	委員	杉本 勝	委員	池淵 彰	委員	高木 幸次	委員	武田 清	委員	出口憲二郎	委員	佐野 善作	委員	宮崎 欽司
-----	-------	------	-------	----	------	----	-------	----	-------	----	-------	----	------	----	------	----	-------	----	------	----	-------	----	-------	----	-------

## 議会改革特別委員会

委員長 杉本 勝  
副委員長 廣田 和  
委員 出口憲二郎

委員長	杉本 勝	副委員長	廣田 和	委員	吉見 勝之	委員	安平 剛之	委員	高木 幸次
-----	------	------	------	----	-------	----	-------	----	-------

## 産業建設常任委員会

産業建設部及び  
農業委員会所管  
に関する事項

委員長 出口憲二郎  
副委員長 米崎 賢治

委員長	出口憲二郎	副委員長	米崎 賢治	委員	吉見 勝之	委員	高木 幸次	委員	北野 恒男	委員	武田 清	委員	佐野 善作	委員	宮崎 欽司
-----	-------	------	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	------	----	-------	----	-------

## 文教厚生常任委員会

市民環境部、保  
健福祉部及び教  
育委員会の所管  
に関する事項

委員長 廣田 和  
副委員長 杉本 勝

委員長	廣田 和	副委員長	杉本 勝	委員	片田 真弓	委員	池淵 彰	委員	安平 剛之	委員	高木 幸次	委員	武田 清	委員	出口憲二郎	委員	宮崎 欽司
-----	------	------	------	----	-------	----	------	----	-------	----	-------	----	------	----	-------	----	-------

## 議会広報特別委員会

委員長 前川 英貴  
副委員長 米崎 賢治  
委員 佐野 善作  
委員 吉見 勝之  
委員 片田 真弓  
委員 廣田 和  
委員 四宮 祐司  
委員 松下 大生

委員長 出口憲二郎  
副委員長 安平 剛之  
委員 佐野 善作  
委員 武田 清  
委員 北野 恒男  
委員 池淵 彰  
委員 杉本 勝  
委員 米崎 賢治  
委員 四宮 祐司  
委員 松下 大生

## 地方創生まちづくり特別委員会

委員長 佐野 善作  
副委員長 杉本 勝  
委員 出口憲二郎  
委員 北野 恒男  
委員 廣田 和  
委員 井村 保裕

## 議会運営委員会

# 3月定例会議

## 常任委員会報告

### 総務常任委員会

大木 進 委員長

#### 市長及び副市長の

#### 給与条例を一部改正

本委員会には議案17件が付託され、審査の結果、いずれも原案のとおり可決した。

◎議案第11号 小松島市自治功労者の表彰及び待遇に関する条例の一部を改正する条例について

3月末日をもって、市営バス事業を廃止することに伴い、所要の改正を行うものである。

◎議案第12号 小松島市事務分掌組織条例の一部を改正する条例について

子ども・子育て支援新

制度に対応するため、保健福祉部の分掌事務に「子ども・子育て支援に関する業務」を追加するものである。

◎議案第13号 小松島市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例について

平成26年の人事院勧告による「給与制度の総合の見直し」に関連し、退職手当の調整額等について改正を行うものである。

◎議案第14号 小松島市

職員の特殊勤務手当支給条例の一部を改正する条例について

本年4月より水難救助隊が発足することに伴い、潜水作業に従事する職員の特殊勤務手当を定めるものである。

◎議案第15号 小松島市職員定数条例の一部を改正する条例について

定員適正化計画の推進等により、条例で定める職員定数と実際の職員数に乖離が生じることから、所要の改正を行うものである。

◎議案第16号 小松島市長及び副市長の給与条例の一部を改正する条例について

◎議案第17号 小松島市教育委員会教育長の給与に関する条例を廃止する条例について

◎議案第20号 特別職の職員等で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

◎議案第21号 小松島市証人等に対する実費弁償に関する条例の一部を改正する条例について

「総合教育会議」の設置に伴い、関係者に対する実施弁償等について、所要の改正を行う。

◎議案第22号 小松島市職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例について

議案第16号、17号、18号、19号、20号、22号について、教育長と教育委員長を一本化した特別職員である新「教育長」制度に対応するものである。

◎議案第23号 小松島市債権管理条例の制定につ

いて

◎議案第24号 小松島市消防団条例の一部を改正する条例について

◎議案第25号 小松島市公営企業組織条例の一部を改正する条例について

◎議案第26号 小松島市営乗合自動車使用条例を廃止する条例について

◎議案第27号 小松島市運輸事業の設置等に関する条例を廃止する条例について

◎議案第28号 小松島市

### 文教厚生常任委員会

廣田 和三 委員長

#### 介護予防サービスの効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正

本委員会には議案13件と請願1件が付託され、審査の結果、議案13件については、採決の結果、いずれも原案のとおり可決した。

請願の1件については、後記のとおり。

◎議案第29号 小松島市立保育所条例の全部を改正する条例について

◎議案第30号 小松島市立幼稚園保育料条例の全部を改正する条例について

て  
◎議案第31号 小松島市 子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例について

◎議案第32号 小松島市 保育の必要性に係る認定の基準に関する条例の一部を改正する条例について

◎議案第33号 小松島市 放課後児童健全育成事業実施条例を廃止する条例について

◎議案第34号 小松島市 介護保険条例の一部を改正する条例について

◎議案第35号 小松島市 指定地域密着型サービスの事業者の指定に関する基準並びに事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

◎議案第36号 小松島市 指定地域密着型介護予防サービスの事業者の指定に関する基準並びに事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支

援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

◎議案第37号 小松島市 地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の制定について

◎議案第38号 小松島市 指定介護予防支援事業者の指定の基準並びに指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について

◎議案第40号 小松島市 世代間交流健康センターの指定管理者の指定について

◎議案第41号 財産の取得について

各議案について行政側より詳細な提案説明があり、議案第28号から33号、第40号及び第41号までを簡易採決の結果、原案どおり可決した。

議案第34号、第35号、第36号、第37号、第38号について挙手採決の結果、挙手多数で採択した。

◎請願第1号 「介護保険に関する請願について」は、挙手少数で不採択とした。

## 産業建設常任委員会

米崎 賢治 委員長

### 市道編入については個々に検証

本委員会には議案2件が付託され、審査の結果、いずれも原案と可決した。

◎議案第42号 市道の路線の変更について、立江12号線について、

◎議案第39号 小松島市 事務手数料条例の一部を改正する条例について

立江12号線について、県営ほ場整備事業（立江新開地区）に伴う換地処分による起点の変更を行うものである。

◎議案第39号 小松島市 「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律（平成14年法律第88号）」を

「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律（平成14年法律第88号）」に改める。

この条例は、平成27年5月29日から施行する。

民間の住宅開発に伴って道路を市道認定しはどうか。

#### 所管事項での質問

民間の住宅開発に伴って道路を市道認定しはどうか。

現状は、事前協議の中で指導して、適合するようであれば市道認定を行っている。市道編入については、個々に検証す

る必要があると考えている。

◎公契約条例について、条例を制定している自治体もあり、地方を活性化させるためにも、条例についての考えはどうか。

最低賃金法や労働基準法等の関連法に基づいて、会社と労働者の間で決定されると認識している。受託事業者と労働者間において自主的に決定されるので、本市からは条例に

関して考えていない。

◎住宅リフォームの助成の考えは。

耐震事業を一番に進めており、耐震事業の方にリフォームの上乗せというのを本市は設けている。リフォームをするのであれば、耐震をしていただきたいのが一番の考えになっている。一般的なリフォームだけというのは、平成27年度予算についても盛り込んでい

木造住宅耐震改修補助制度 パンフレット（平成27年度版）

# 予算決算常任委員会

佐野 善作 委員長

## 平成27年度3月当初予算を可決

過去最大の規模 総額168億8千3百万円

昨年度より15.2% 22億2,200万円増

### H27年度「主な事業」

● 新中学校建設事業	22億9,840万円
● 消防・救急無線デジタル化整備事業	1億2,663万円
● 市立体育館運営事業（駐車場整備事業）	5,400万円
● 市営プール運営事業	5,000万円
● 番号制度（マイナンバー）対応等システム関連事業	4,963万円
● 公民館耐震診断事業	1,210万円
● 一般廃棄物（ビン・ガラス類）収集運搬事業	1,095万円
● 生活困窮者自立相談事業	850万円

### 議会抽出の平成27年度予算重要事業

#### 葬斎場建設事業

現葬斎場を稼働させつつ、隣接へ敷地を拡張し、津波避難機能を備えた新葬斎場としての建てかえをする。

4億6,083万円



葬斎場完成予想図

### 議会の事務事業評価に対する行政からの予算等改善事項

平成26年9月議会で平成25年度決算審査における市長へ提出した議会からの意見書に対して予算反映が行政から提出された。概要は下記のとおりです。

#### 事務事業名

津波等災害に強い安全なまちづくり推進事業  
(津波避難タワー設置事業)

1億2,000万円

#### 予算反映等改善事項

小松島ニュータウン地区に津波避難タワーを設置する方針であったが、南海トラフ巨大地震の被害想定公表を受け、当初計画では収納可能人数が少ないため、新たな手法として、盛り土式の施設の整備を検討することとなった。



盛り土式避難施設完成予想図

平成26年度

# 特別委員会報告

## 人権啓発特別委員会

大木 進 委員長

### 住宅新築資金について調査研究

委員会として、住宅新築資金等貸付事業の解決策として、福岡県嘉麻市と行橋市において先進

ている。また、行橋市は、債権管理条例を策定し、すべての債権者を対象とした相談の場を設け、対応している。両市とも回収方法は若干違うが、それぞれ条例を整備し、債権の回収を行っている。

視察を行う前、平成26年7月30日、「戸籍における本人通知制度について」、「住宅新築資金について」の議題で、当委員会を開催し、行政側からの説明を求めた。

## 議会広報特別委員会

廣田 和三 委員長

### 定例議会の報告を中心に議会だよりを発行

当委員会は、平成26年3月定例会議、6月定例会議、9月定例会議、12月定例会議を中心に102号、103号、104号、105号の議会だよりを編集・発行してきた。

当委員会として、平成27年1月15日から16日にかけて、福岡市で開催された研修（議会広報（誌）編集の基本と「読まれる」紙面の作り方）に参加した。研修した内容を、今後の議会だより作成に生



研修風景

かしていききたいと委員全員で誓い合った。

- ◎ 3月定例会議 10日
- ◎ 6月定例会議 10日
- ◎ 9月定例会議 7日
- ◎ 12月定例会議 7日

## 議会改革特別委員会

井村 保裕 委員長

### 議会報告会の見直しは

### 次年度へ繰越し検討

全国より8市議会の視察団が「議会改革について」「通年会期制について」「iPad導入について」等について来市し、本委員会委員が視察対応

を検討した。また、埼玉県所沢市と東京都多摩市にて先進地視察を行った。決算審査時の評価シートに統一性を持たせて、課題については、議会から市政へさらに反映させる。

## 市民の足を守る特別委員会

米崎 賢治 委員長

### 市営バス平成27年4月1日から

### 徳島バス(株)に移譲

平成26年6月18日に開いた特別委員会において、市当局から市営バスの路線移譲公募結果の報告を受ける。市バス3路線5系統の現行サービスを下回らない条件で、徳島バス(株)に優先交渉権者を決定した。

徳島市及び鳴門市における、移譲後の現在の状況や問題点等、また地域バス(コミュニティバス)・循環バスの導入によるメリット・デメリット等についての調査を、徳島市役所・鳴門市役所で行った。委員会としては、これからの3年後の契約終了後を見据えて、市民への現行サービスを下回らないよう調査研究を行う。



# 6月定例会議

## 常任委員会報告

### 総務常任委員会

北野 恒男 委員長

#### 特別職報酬等審議会条例を改正

本委員会には議案3件と請願1件、陳情1件が付託され、審議の結果、議案は原案のとおり可決、請願・陳情については後記のとおり。

◎議案第50号 小松島市特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例について

平成27年4月1日付の組織改編に伴い、事務担当課の名称改正を行うもの。

◎議案第56号 徳島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少に伴う徳島県市町村総合事務組合規約の変更

問 婚活パーティをしては。 答 各分野の有識者会議

#### 所管事項での質問

について 板野郡西部学校給食組合の解散に伴い規約を変更するもの。

◎請願第2号 「安全保障関連法案」の慎重審議を求める意見書の提出を求める請願については、挙手採決の結果、挙手少数により、不採択にすべきものと決した。

◎陳情第1号 地方財政の充実・強化を求める意見書の採択については、挙手採決の結果、挙手全員により、採択すべきものと決した。

の意見をいただく中で検討していく。

問 防災無線の調査結果は。

答 防災行政無線としての目的を達成しており、不感地域はないと判断している。

問 水道施設の耐震化の状況は。

答 平成19年度から長期計画に入っており、石綿管の敷設がえ等進めている。浄水場から配水池までの送水管については、地元説明会を開き、早期に敷設がえを行いたい。



### 文教厚生常任委員会

廣田 和三 委員長

#### 低所得者の介護保険料を軽減

本委員会には議案2件が付託され、審査の結果、議案2件については、採択の結果、いずれも原案のとおり可決した。

◎議案第52号 小松島市国民健康保険条例の一部を改正する条例について

国民健康保険法の改正により、条例により引用する規定の条番号が変更されたことに伴い、所要の改正を行う。

◎議案第53号 小松島市介護保険条例の一部を改正する条例について

介護保険法の改正により公費を投入して、低所得者の第1号被保険者の保険料軽減強化を行う。平成27年度から29年度

までの保険料について、基準額に乗じる割合を0.5から0.45に引き下げる。 改正前年額 31,680円から 改正後年額 28,510円に軽減する。 各議案について行政側より詳細な提案説明があり 議案第52号及び第53号を簡易採決の結果、原案どおり可決した。

#### 所管事項での質問

問 児安小学校西側の県道沿いの歩道が整備されつつあるが、どのように通学指導をされるのか。 答 通学方法については相談しているが、保護者への啓発含めて学校、警





道路拡張が予定されている児安小学校付近



南小松島小学校西側の塀

察等とも協議しながら検討したい。

**問** 南小学校西側の水路に沿った塀に亀裂が入っている。水路の上は、同校や高校の通学路になっており危険であるので対策を。

**答** 早急に現場を確認して対処したい。

## 産業建設常任委員会

出口 憲二郎 委員長

### 「まちづくり推進課」を設置

本委員会には議案2件が付託され、審議の結果いずれも原案のとおり可決した。

**◎議案第54号** 小松島市

都市計画審議会条例の一部を改正する条例について

平成27年4月1日付の組織改編に伴い、事務担当課の名称変更を行うものである。「都市整備課」から「都市計画担当課」へ。

**◎議案第55号** 小松島市

風致地区内における建築等の規制に関する条例等の一部を改正する条例について

条例における法人の名称変更に伴う改正及び経過措置を定めるもの。

**所管事項での質問**

**問** 市営住宅の家賃の未

収金はどのくらいか。

**答** 平成26年度見込みで徴収率71.5%であり、今後も徴収率アップに努力していきたい。

**問** 和田島市営住宅に集

会所がない。設置する計画はないのか。

**答** 用地は確保しているので、精査しながら検討していきたい。

**問** 芝生川護岸における未修理の部分はどうかしているのか。

**答** 事業化に向けて徳島県が調査、設計を行い、本年雨季が終わった時期に工事を行う予定と聞いている。

**問** 排水路側溝清掃において、従来の環境衛生センターの業務はどうなっているのか。

**答** 環境衛生センターでの側溝清掃業務は廃止し、都市整備課において、全市において状況の調査を行い、計画的に外注、業務委託を行っている。

**問** 通称目佐川の水路の浚渫（しゅんせつ）はどうなっているのか。

**答** 阿南市との協議が必要となるので協議を行いたい。



芝生川護岸



日ノ峰山頂より市街地を望む

## 平成27年6月定例会議発言要旨

### 池淵 彰 議員

1. 都市農業振興基本法について
2. 四国横断自動車道阿南小松島区間整備について
3. 障がい者福祉施策について

### 北野 恒男 議員

1. 県道小松島・佐那河内線の歩道の整備について
2. 勝浦川堤防の防災対策について
3. 健康づくりの取り組みについて

### 片田 真弓 議員

1. 市道の整備について
2. 学童保育について
3. 国保税（料）について

### 杉本 勝 議員

1. 地方創生について
2. 企業誘致について
3. 葬斎場建設について
4. 教育問題について

### 四宮 祐司 議員

1. 政治倫理について
2. 生活困窮者支援法について

### 佐野 善作 議員

1. 緑の基本計画について
2. 生物多様性農業について

### 廣田 和三 議員

1. 浸水対策について
2. 南部地域統合中学校について
3. 幼稚園、小学校の統廃合について

### 松下 大生 議員

1. 金磯・横須地区の避難道路について
2. 金磯まちづくり条例について

### 安平 剛之 議員

1. 空き家等対策特別措置法について
2. まち・ひと・しごと創生総合戦略について
3. 生活環境の整備について

### 高木 幸次 議員

1. 災害時の対応について
2. 道路・橋梁等の安全性について
3. 県道について
4. 河川の浚渫（しゅんせつ）について

### 吉見 勝之 議員

1. 防衛施設周辺地区の浸水対策について
2. 海産物の販路拡大について
3. 県・市道の補修について
4. 公衆道徳の教育について
5. 国民年金保険料の後納制度について

### 出口憲二郎 議員

1. 市議会議員選挙について
2. 北海道本別町との交流について
3. 小松島市建設工事請負業者選定要綱について

## 都市農業振興基本法について

市の考えは

創明会 池淵

彰 議員

答 総合的に検討する



## 小松島・佐那河内線

歩道整備の進捗は

やまももクラブ 北野

恒男 議員

答 延長約245メートル区間を工事中



**池淵** 農業の後継者をつくる上でも、市街化農地においても、しっかりと農業保全をやっていくべきと提言された法案だ。都市農業の利用が継続される土地に関する税制上の措置についても施策がある。どのように考えるか。

た、まちづくり、防災、税制、財政上等の観点からも踏まえ総合的に検討する。

**池淵** 国の指針を待たずとも、本市としてぜひとも課内で協議等スタートさせていくべきではないか。

**池淵** さらに、立江・榑淵地区へのインターチェンジ設置に取り組んでいくことを要望する。

**障がい者への就労支援は**

**池淵** 福祉のまちとして、就労支援への取り組みは。

**北野** 今後の計画は。産業建設・水道部長 児童安小学校西側約600メートルを事業区間とし、今年度は、延長約245メートル区間の残りを、順次工事を進める。今後とも県と連携し、引き続き関係者の協力を得ながら、歩行者が安全・安心して通行できる道路空間の確保に努める。

**北野** 児童安小学校用地の歩道の整備がおこなわれているが。

**北野** 田浦町西原地区の進捗状況は。

**まちづくり推進課長** 整備区間の延長340メートルのうち、延長約240メートルの整備を終えた。

**北野** 今後の計画は。産業建設・水道部長 今年度に残る約100メートル区間のうち、計画上流端約64メートル区間の整備を行う予定。残る区間についても、県と連携しながら早期の完成を目指す。

**健康づくりの取り組みは**

**北野** 健康ポイント制度の実施に向けての状況は。

**政策監** 40才以上の国民健康保険者を対象として「こまつしま国保マイレージ事業」を実施する。特定検診、がん検診の受診や健康講座に参加していただき、スタンプを集め、応募の中から抽選でミリカホールでの映画のチケット等に交換する。

**産業振興課長** 人口減少社会を迎え、都市農地に対する宅地化も低下する中、防災等の観点からも都市農地の保全や有効活用について住民の関心が高まっている。都市農地の良好な市街地形成における農との共存、都市農業の振興に関する国や地方公共団体の責務を明記。必要な法制上、財政上、税制上、金融上の措置を講ずるよう求めている。

**池淵** 市がどのような取り組みをしているのか。

**産業建設・水道部長** 計画策定前でも、事前準備することでスムーズに、我々の地方計画に取り組みでいけると考える。

**保健福祉部副部長** 就労ニーズは非常に高い。自力で通勤できる圏内での就労が望ましい。支援を進めていく。

**池淵** グループホームの中で、入所型就労支援施設が現在残念ながらない。市の方策は。

**副市長** 必要な施設であると認識している。補助制度活用事業者に対し情報提供を行うなど、適切な支援に努めたい。

**池淵** 使用開始までに立江川終点部まで整備をすべきた。

**まちづくり推進課長** 引き続き県と緊密な連携を図りながら、早期整備促進に取り組み。

**池淵** 高速道路の現状は

### 高速道路の現状は

**池淵** 新直轄区間である四国横断自動車道、阿南から徳島東間の供用については、平成31年度供用が図られるよう国、県に働きかけていく。

**池淵** 必要なのは、早期整備促進に取り組み。

**池淵** 必要なのは、早期整備促進に取り組み。

**池淵** 必要なのは、早期整備促進に取り組み。

**池淵** 必要なのは、早期整備促進に取り組み。

**池淵** 必要なのは、早期整備促進に取り組み。

**池淵** 必要なのは、早期整備促進に取り組み。

**池淵** 必要なのは、早期整備促進に取り組み。

**池淵** 必要なのは、早期整備促進に取り組み。

**池淵** 必要なのは、早期整備促進に取り組み。

**池淵** 必要なのは、早期整備促進に取り組み。

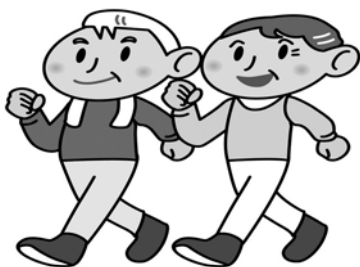
**池淵** 必要なのは、早期整備促進に取り組み。



県道小松島佐那河内線



勝浦川堤防



こまつしま国保健康マイレージ事業

# 市道・赤石2号線の拡幅は

日本共産党 片田 真弓 議員

**答** 経済効率性が高く、効果的な対策の検討を重ねる



**片田** 新開小学校前の市道赤石2号線は、大型車の通行や保育園の送迎車もあり、児童が通学するのに非常に危険である。父兄からの拡幅を望む声がたくさんあるが、市としての考えは。

## 本市の学童保育の基準は

**片田** 子ども・子育て支援新制度施行により、指導員の処遇改善が、一施設156万円、常勤指導員配置で283万円補助基準額が上乘せされる。本市では150万円以下での不安定雇用や劣悪な労働条件に対して改善はあるのか。

**都市整備課長** 道路改良など抜本的な対策が急がれるが、用地買収や近隣住民との同意など費用と時間を要する問題がある。

**片田** 早急に舗装とカラー舗装をすべきである。

**都市整備課長** 舗装の打ちかえを進める。

**片田** 幹線月ノ輪・金磯線の道路整備とJR踏切拡張工事の進捗状況は。

**都市整備課長** 用地測量設計、地質調査を、JＲと協定を結び協議する。

**片田** 学童保育は、市町村の責任が利用の促進の努力義務しかなく、最低基準・整備の定めがない。今年、国から市町村事業となり学童保育への補助金は、国から市町村への直接補助となった。国の示す基準に対して、本市の基準は。

**保健福祉部副部長** 国の基準に従い保育所と同じ市町村の実施責任となり、従来制度を引き継ぎ手続きを策定し、各放課

後児童クラブと詳細を検討する。

**片田** 放課後児童クラブ事業者と検討し協議する。

**片田** 保育料の減免制度の適用を。

**市長** 放課後児童クラブ事業者と検討し協議する。

**杉本** 行政として婚活を開催してはどうか。

## 答 婚活は有識者会議等で検討

新生クラブ 杉本 勝 議員



**杉本** 行政として婚活を開催してはどうか。

**秘書政策課長** 今後開催予定の専門的見地の立場の外部委員で組織構成される有識者会議の意見を初め、結婚、出産、子育てに関する意識希望調査の結果、検討する。

**杉本** 若者に、市で住める住宅を促進する事業は。

**産業建設・水道部長** 若い世代への部屋の優先的な提供は、公営住宅法で困難である。

**保健福祉部副部長** 施設の安定運営、一定規模の集団教育、保育の場を提供、幼稚園、保育所の垣根を越え、既存施設の統合を進める必要がある。幼稚園、保育所の両方の機能をあわせ持った認定こども園は推進すべき施設である。関係する担当課レベルで、週1回のペースで協議し、検討会を具現化するよう取り組んでいる。

**杉本** 私立認定こども園の場合、市の補助金と国からの補助金があり、検討しては。

**保健福祉部副部長** 補助金・交付金制度は、民間施設があらゆる事業の補助金、交付金制度の対象

**杉本** 認定こども園は

となっており、補助金、交付金制度によって、利用児童や保護者のニーズに添ったサービスを充実し、民間保育所への入所は近年常に集中している状況にあり、実質的な市の負担軽減である。

## 「道の駅」の導入は

**杉本** 本市における道の駅の取り組みは。

**産業建設・水道部長** 四国横断自動車道、阿南から徳島東間の供用開始、香川県から四国東北部、近畿圏から本市への大幅なアクセス改善が見込まれ、交流人口の増加も期待される。自動車の立ち

## 高過ぎる国保税

**片田** 国保世帯の平均所得は、1994年225万円から2013年では139万円の4割減少、国保税は同年比、6576円の20%増となっており、

高過ぎる国保税が貧困化に拍車をかけている。保険制度改革案で財政運営を市町村から県に移されるが、市の施策は。

**政策監** 都道府県が国保運営の方針を定め、市町村は保険料の徴収となるが、国の動向により対



市内の学童保育クラブ

処していく。

# 公職選挙法18歳に改正の対応は

公明党 四宮 祐司 議員

**答** 市選管として研究し、国、県の動きも見定め適正に行う



**四宮** 18歳選挙権を実現するための公職選挙法改正案が成立するが、若者の政治参加や年々、低下傾向にある投票率の向上につながるを期待され、それに伴い18、19歳による選挙運動も可能となる。教育現場などで政治にかかわる意義をどう伝

え、投票行動につなげていくのか。

**選挙管理委員会事務局長** 県選管との連携による

出前授業、選挙事務への学生の起用等の取り組みについても学校、教育委員会と連携し、市選挙管理委員会においても研究を進め、国、県の動きも

**四宮** 議員は選挙期間だけでなく、政治活動、議員活動において各種団体などの会合、また地域

## 適正な政治活動は

見定め、適正に行い、市民の皆様への広報等周知に努めていく。

寄り、休憩、地域情報を得たり市の地域振興に効果的である。引き続き、研究、検討を行い、道路管理者である国・県と協議していく。

## 企業誘致の取り組み

**杉本** 企業誘致の推進と進捗状況は。  
**産業建設・水道部長** 企業誘致に係る本市の取り組みの進捗状況は、港湾関連会社や製材工場、電気機器メーカーやクリーニング会社等、また県と連携による赤石地区港

湾用地でメガソーラー発電所の立地や日本製紙小松島工場跡へ県内製紙会社、同敷地内で四国最大級のメガソーラーの発電の設置、横須地区に大手合板会社の工場誘致等手がけている。

の会合など行事やレクリエーションの参加、禁止事項である寄附行為等に対して厳正に対処しなくてはならないが、市選管として適正な政治活動をどのように考えるか。

**選挙管理委員会事務局長**

公職選挙法では、選挙の腐敗防止、候補者間の平等確保、金のかからない選挙等、選挙の自由と公正を確保するため、候補者の当選を目的とする選挙運動を厳しく規制している。政治活動、選挙活動については議員各位において重々承知のことであると存じるが、市選管としては、どの選挙においても公職の候補者には有権者等に不信を抱か

## 生活困窮者自立支援法は

れる政治活動、選挙運動は常に謹んでいただきたい。

**四宮** 本年度4月、新たに生活困窮者自立支援法が施行され、生活困窮者が、自立した生活を望み、

支障を来している場合、状況に応じて支援ができるとあるが、生活困窮者自立支援法の中身はどのような制度か。

**生活福祉課長** 本市は2つの必須事業を本年度の実施事業としており、自立相談支援事業は個別的に支援し、生活保護に陥ることのないよう、また

制度の狭間になることな

く、包括的に経済的な支援を行う事業である。

住居確保給付金については、離職により住宅を喪失、またはおそれのある方を対象に所得が一定基準以下の方に期限つきで生活保護の住宅扶助基準と同額の家賃相当額を支給する制度を実施している。

**四宮** 具体的な周知方法は。

**生活福祉課長** 市のホームページに掲載し、広報にリーフレットを折り込み、市役所、公共施設等の窓口でリーフレットを備えており、今後も周知徹底を図る。

# 生物多様性農業の現状は

みらい政策クラブ 佐野 善作 議員

**答** 生物多様性農業推進協議会を立ち上げ、支援している



**佐野** 協議会の経過、現状、実績は。

**産業振興課長** 生き物や

環境に優しい農業を推進するため、農業者、JA、民間企業、行政機関等で組織する小松島市生物多様性農業推進協議会を設立し、生物多様性保全に配慮した循環型農業の推進と、地域農業を担う人材の育成、安心・安全な農産物の供給とブランド化を柱に取り組んでいる。協議会では、シイタケ廃菌床の堆肥化に向けた開発支援や利活用を推進し、地元企業が開発したミミズを使った土壌改良材には廃菌床を利用しており、水稻育苗資材として活用

している。NPO法人・とくしま有機農業サポーターセンター等と連携し、水稻や葉物野菜など栽培技術講習会の開催や有機JAS認定講習会等も行っている。また、農産物のブランド化を図るため、一定の基準のもとに栽培したお米を「いのち育むたんぼ米」として認証し、昨年は約2000枚のシールを発行している。学校給食等への提供やオーガニック・フェスタや食材フェアにも出展し、PRに努めている。昨年は本市のふるさと納税への返礼品に「いのち育むたんぼ米」を指定したところ、多くの方に

寄付を頂いた。一昨年は、このお米が全国米食味分析鑑定コンクールで特別優秀賞を受賞し、本年4月には日本航空の機内食で県外の乗客から購入の問い合わせ等の反響があった。

**佐野** もっとPRに力を入れるべきと思うが、今後の取り組みは。

**産業建設・水道部長** 引き続き、協議会の活動支

援を行っていく。「こまつしま：うまいもん祭り」やみなと海鮮朝市、大都市圏等で開催されるイベントにおいて積極的にPRをしていく。

# 幼稚園小学校の

## 再編計画の進捗状況は

新風はなみずき 廣田 和三 議員

**答** 幼稚園の再編等が喫緊の課題であり先行して協議を進めたい



**廣田** 今年度における幼稚園・小学校の統廃合についてのスケジュールは。

**教育政策課長** 幼稚園に

ついては各園とも少人数化が進み、平成28年度以降募集停止や休園を検討せざるを得ない状況である。幼稚園の再編等が小学校以上に喫緊の課題であり、先行して進めたい。  
**廣田** 幼稚園・小学校の統廃合は、地域での合意形成や建設場所の確保ができたところから順に実施するとあるが、土地の確保から校舎建設費に莫大な財源が必要となるが、市教育委員会の考えは。  
**教育政策課長** 用地や施

設の設備にかかる費用の問題も踏まえて十分に検討していく必要がある。

**廣田** 少子化が加速し文科省等においても制度改正が毎年のように変わる中、再編計画が合致しているとは思えない。改めて見直しすることを要望しておく。

**「新中学校」開校の予定は**

**廣田** 新中学校開校に向けて準備スケジュールは。

**教育次長** 開校に向けて

立江・坂野両中学校の備品の移動や購入について移転に備えて計画的に進めている。通学路につい

ては準備委員会で決定し入学説明会で周知する。同説明会は両中学校や通学が予定されている小学校とも協議して制服、学校生活、校則などを説明したい。開催時期も例年より早くしたい。  
**廣田** 閉校、閉校事業についてはどうなっているか。

**教育次長** 両校での閉校

事業は、両校の実行委員会にて記念誌などの協議をしている。開校式の期日については学校行事等から現在調整中である。今後は、準備委員会やホームページで公開したい。  
**廣田** 新中学校の工事発注と進捗状況は。

**教育政策課長** 校舎新築

## 「緑の基本計画」の 取り組みは

**佐野** 計画策定の概要は。まちづくり推進課長 小松島市都市計画マスタープランに基づき、公園や緑地等のオープンスペースによるネットワークの形成、緑の効果的な整備のため、緑の基本計画を策

定する。本年1月、緑の現況調査に取り組み、策定に当たっては専門家や市内の各種団体の代表者で策定市民会議を6月1日に設置した。市民アンケートの実施やパブリックコメントを通して市民の皆様からもご意見をいただきながら今年度中の基本計画策定を目指す。



日峯大神子広域公園

工事、水路付けかえ工事、太陽光発電設備設置工事、バイパスのり面整備工事、外構工事の5工事に分割され、今後、テニスコートの整備工事を予定している。工事の進捗状況は、6月4日現在で5日おくと報告がある。今後も業者と綿密な連携を図りながら4月開

校に努めてまいりたい。**廣田** 一番に待ち望んでいるのは生徒である。部分的な開校でなく、完全仕上がりでの開校を願う。



建設が進む南中学校

## 幹線月ノ輪・金磯線 踏切拡幅の進捗状況は

創生クラブ 松下 大生 議員

**答** 今年度中にJRと協定を結び  
地元関係者と協力し進める



**松下** 金磯町・横須町の

避難道路である幹線月ノ輪・金磯線道路拡幅工事及びJR牟岐線踏切拡幅(平成27年JRとの協定締結予定)の、具体的な工事計画及び工事完成予定は決まっているのか。

**産業建設・水道部長** 用

地測量・詳細設計・地質調査等を本市が実施し、踏切部分については、JRとの協定を行う。並行して、地権者及び地元関係者などの皆様と協議を進めていく。

経過している。早期完成を目指している。また、地元住民への情報提供、対応について問う。**産業建設・水道部長** 地元自主防災会・地元協議会を初め、地元住民の皆様へ情報提供・対応を進める。

## 「金磯まちづくり条例」の今後は

**松下** 金磯まちづくり

条例では、将来人口を7000人と想定していたが、現在約2600人程度である。人口を例にとっても計画当時と状況が変わっているが、条例改正を含め今後の方針を問う。

**産業建設・水道部長** 国

の補助事業である社会資本整備総合交付金などを活用し、引き続き施設整備に取り組んでいきたい。**松下** 金磯地区整備基金で購入した公園用地が12年間放置されているが、

防災機能をあわせ持つ公園はできないのか。

**産業建設・水道部長** 緑

の基本計画の策定の中で、緑や公園の持つ、また、防災機能の確保を含め取り組んでいきたい。

**松下** 昭和61年と昭和62

年に寄附されている用地が約30年間放置されているが、土地利用計画はあるのか。

**産業建設・水道部長**

オープンスペースとして位置づけられ、その役割を有しているが、これから策定する緑の基本計画の中で役割を照らし合わせ、公園整備の必要性について一つの課題として



放置されている公園用地

取り組んでいきたい。**松下** 緑の基本計画で行うとのことだったが、いまだなかなかできていない。本当に誠心誠意をもって鋭意努めていただきたい。市が先行的に行う都市計画事業の横須金磯線・集会所・公民館を含め早期完成を要望する。

# 空き家等対策特別措置法の 対処する体制は

みらい政策クラブ 安平 剛之 議員

## 答 当面は住宅課が中心となる

**安平** 空き家等対策計画はいつまでに作成するのか。  
**住宅課長** 現時点では、まずは空き家等の実態把握に努めていく。

**安平** 空き家等がもたらす政策課題に横断的に応える必要がある、また総合戦略の考えのもと、活用迅速に対応できる体制を整えるべきでは。  
**産業建設・水道部長** まずは住宅課において早期に計画策定をできるように、空き家の実態調査から行いたい。当面は住宅課が中心となる。  
**安平** 空き家等の実態の把握は税金の滞納を徴収するより大変な仕事である。現在の住宅課の体制で短期間でどのようにし



て事態把握を行うのか。  
**産業建設・水道部長** まずは情報の把握方法について調査研究していく。

## 私道整備に補助金を

**安平** 全国ではたくさん自治体が日常生活で利用している私道を自主的に整備するときに、整備費用の一部を市の補助金として交付している。本市もこの補助金制度を行ってはどうか。  
**副市長** 本市として基本的に私道の所有者、あるいは近隣住宅等がみずから舗装なり、水路工事などの整備を行うべきものであると考えている。市からの助成は考えていない。

## 川南地区の浸水対策事業は

**安平** 都市計画法に基づき定められた用途地域に住宅を建てている市民にとって、1年間に3回も浸水被害に見舞われたことは非常に遺憾なことと考えている。市は何か対策を講じているのか。  
**産業建設・水道部長** 昭和47年から川南ポンプ場や雨水幹線水路等の整備を実施している。この地区の雨水排水は芝生川の水位上昇の影響を受けることから、徳島県に対し排水機場の機能増強や河川護岸の改修等について要望活動にも鋭意取り組んでいる。

**安平** 現実に年3回も浸

# 和田島ちりめんとハモの ブランド強化は

やまもクラブ 吉見 勝之 議員

## 答 小松島ブランド戦略推進協議会を設立し進めている

**吉見** シラス、ハモのブランド強化の取り組みは。  
**産業振興課長** 小松島漁協、和田島漁協、東とくしま農業協同組合、小松島市で構成する「小松島ブランド戦略推進協議会」を設立し進めている。

県の事業にあわせて漁協が販売するパッケージ作成や、加工設備等の補助も行っている。  
**吉見** 都市部への販路拡大は。  
**産業振興課長** 主な活動内容は東京、大阪の有名ホテルのバイヤー等を招いた商談会の参加。NHKふるさとの食・日本の食のイベントへの参加。全国シーフードショーへの出店。大型クルーズ船



の入港時のPR。こまつしまブランド名刺を作成し市職員、漁協、農協の職員、一般の方にも提供しPRをしている。



こまつしまブランド名刺 (ほかに9パターンあります)

の時間降雨72・5ミリの大雨に耐え得るポンプ場、及び幹線管渠等の雨水排水基幹的施設を中心に、今年度は平成28年度からの事業化を目標に、防衛省の補助事業を活用できるように予算要求を行う。

**吉見** 本来なら、浸水被害を受けている地域関係者に、計画案ができた時点で説明会などの場を持って説明すべきではないか。

## 排水区域を3地区に分ける浸水対策は

**吉見** 防衛施設周辺地域の具体的な整備計画のものと、浸水被害の解消を図るのか。

**まちづくり推進課長** 10年に一度程度発生する、

**まちづくり推進課長** 浸水対策の整備計画案が防衛省の補助事業として認められた段階で説明会の開催等を行う予定である。整備計画は全体の総事業費が高額、そして整備期間が長期に及ぶこと



水している。今言われた対策は効果があつたのか。

**産業建設・水道部長** 今

後においても市長が安全・安心して暮らせるまちづくりの構築に向け、鋭意社会資本整備に取り組んでいく。

**安平** そう言つて40年が経過したのでは。市民も辛抱できなくなつてい

る。鋭意努力しますではなく、これからどうするのか。

**副市長** 市長みずから

県に赴き、芝生川の対策について要望書を提出している。今後も市民が安全で、安心して暮らせるまちづくりの実現に努めていく。



## 通称 目佐川（青線）の 浚渫工事について

大互クラブ 高木 幸次 議員

**答** 他市や関係団体等と協議し進めていきたい



**高木** 通称目佐川は、大  
林・赤石・刈屋・坂野、  
また那賀川土地改良区等  
の田んぼの水を供給して  
いるが、昨年の大雨で大  
場から目佐にかけての幹  
線道路が浸水し、家屋が  
つかれる被害が出たが、そ  
の対策はどうなつてい

**産業建設・水道部長** 通  
称目佐川と呼ばれている  
水路は、阿南市那賀川町  
より流れてきていますが、  
坂野町字目佐と阿南市那  
賀川町黒地との市境、県  
道・坂野羽ノ浦線と県道  
大林那賀川阿南線の交わ  
る区域で、幅約20メート  
ル、長さ80メートルほど

の広さがある。  
この水路は、周辺の農  
業水路として利用され、  
阿南との市境となつてお  
り、浚渫（しゅんせつ）  
等の必要性を感じるとこ  
ろであるが、水路の細く  
なつている箇所では阿  
南市との協議が必要とな  
る。こうした点を踏まえ、

から、段階的な整備計画を立て、事業の効果を早期に発揮させる計画にしている。

**国民年金保険料の後納  
制度と受給資格期間  
10年に短縮は**

**吉見** 周知方法は、  
**健康増進課長** 未納の保  
険料を平成27年9月30日  
までの3年間に限り、過

去10年分までさかのぼつて納められる制度である。周知は順次、勸奨通知を実施していると徳島南年金事務所国民年金課から伺っている。市としては平成24年10月号の広報こまつしまに掲載、小松島市のホームページに平成24年9月1日で公開し、日本年金機構へもり

去10年分までさかのぼつて納められる制度である。周知は順次、勸奨通知を実施していると徳島南年金事務所国民年金課から伺っている。市としては平成24年10月号の広報こまつしまに掲載、小松島市のホームページに平成24年9月1日で公開し、日本年金機構へもり

ンクしている。  
**吉見** 老齢基礎年金の受給資格期間を25年から10年に短縮するという法改正がなつたが、この制度は、

**健康増進課長** 徳島南年金事務所に問い合わせたところ、国の動向を見守りながら適切な時期に市町村に情報を提供したいということであつた。

阿南市や関係団体等と協議し、浚渫（しゅんせつ）する場合の規模や工事等の工法などの調査を行い進めてまいりたい。

**防衛施設周辺地域の  
洪水浸水対策は**

**高木** 昨年4月の出前

講座のときに、和田島防衛施設周辺の洪水、浸水リスクに対する市民安全の確保のため、排水地域の再編、また排水機場及び雨水流下施設などの調査・検討を行うと言つていたが、その後の経過はどうなつているのか。  
**まちづくり推進課長** 本市では、防衛施設周辺地

域の浸水被害を緊急かつ効率的に軽減を図ることを目的に、防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律第3条に規定される防衛省所管の障害防止助成事業を活用し、昨年6月から、全体計画調

査に着手し、基地周辺地域の現状及び排水システムの調査を行った。  
今年度は、平成28年度からの事業化に向けて防衛省に対し予算の概算要求を行ったところであり、鋭意進めてまいりたい。



通称 目佐川

# 北海道本別町との交流事業を 拡大してはどうか

新生クラブ 出口 憲二郎 議員

**答** 一部の小学校だけでなく、  
広く参加募集を図っていききたい



**出口** 友好都市である北海道本別町との交流事業である、立江小学校と男足小学校の交流事業を、他の小・中学校にも拡大すべきではないか。

**教育次長** 交流事業を一部の小学校だけでなく、多くの学校に広げていくことは大変価値があるので、本別町教育委員会と連携しながら調整を図り、次年度以降に拡大していきたい。

**「市議会議員選挙」の投票率を上げるには**  
**出口** 本市における市議会議員の選挙の投票率が



本別町の風景

大きく低下している。この原因はどこにあると考えているか。

**選挙管理委員会事務局長** いろいろ分析を進めているが、社会現象としての政治離れという全体的なこととも考える中で、今後対策を練っていききたい。  
**出口** 期日前投票所を増設しては。

**選挙管理委員会事務局長** 経費の面とか地理的要素、場所の確保等々いろいろ整理しなければならぬということもある。また期日前投票所の増設が投票率の向上に直結するものではないと考えているので、増設は考えていない。

**建設工事請負業者の格付けは**  
**出口** 小松島市建設工事請負業者選定要綱には、

本店を市外に置く業者であつても市内に営業所を設置し、商業登記簿謄本等の記載、法人市民税等の納付が確認された場合は市内業者として格付けするとあるが、小松島市総合評価落札方式の実施方針には、総合評価の項目、企業評価のうち地理的条件として、市内に本店があるかないかで、評価点に差がある。総合評価方式の中に地理的条件を入れること自体が、選定要綱と矛盾しているのではないか。

**産業建設・水道部長** 選定要綱は、あくまで指名競争入札から随意契約における業者を選ぶものであつて総合評価落札方針は一般競争入札における基準であるので、異なるものであると考えている。

## 平成 26 年度 政務活動費収支一覧表

会派名	議員名	交付額	利子	支出科目						支出総額	残額 (返納額) *利子含む
				研究研修費	調査旅費	資料作成費	資料購入費	広報費	その他の経費		
新生クラブ	出口憲二郎 原田英勝 石武前川見 杉本内崎野 前吉井宮北	1,440,000	127	60,780	416,730	37,305	27,282	0	175,086	717,183	722,944
市民クラブ	井宮北内崎野 村田保和賢 野平善剛	720,000	92	0	41,540	10,484	0	0	87,543	139,567	580,525
新風はなみずき	井廣米佐安	720,000	71	75,000	156,572	0	0	0	87,543	319,115	400,956
みらい政策クラブ	天片羽篤 大木真進	480,000	38	50,000	120,968	0	93,330	0	58,362	322,660	157,378
日本共産党 小松島市議団	天片羽篤 大木真進	480,000	36	95,695	0	11,405	72,887	128,250	58,362	366,599	113,437
公明党	天片羽篤 大木真進	240,000	37	0	0	0	0	0	0	0	240,037
合計		4,080,000	401	281,475	735,810	59,194	193,499	128,250	466,896	1,865,124	2,215,277

執行率 45.71% 残額 2,215,277 円 市に返納した。

## 賛否表（平成 27 年 3 月定例会議）

議案・請願		議員名（議席番号順）															
		前川英貴	杉本勝	片田真弓	天羽篤	廣田和三	米崎賢治	井村保裕	北野恒男	吉見勝之	武田清	安平剛之	佐野善作	石原正裕	大木進	出口憲二郎	井内建治
第2号	平成27年度小松島市一般会計予算	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第6号	平成27年度小松島市国民健康保険特別会計予算	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第8号	平成27年度小松島市介護保険特別会計予算	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第34号	小松島市介護保険条例の一部を改正する条例について	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
※ 請願第1号	介護保険に関する請願について	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成 ●は反対 ※（議長）宮崎欽司は、採決には加わりません。

議案第2号・第6号・第8号・第34号については、起立多数で可決。

※ 請願第1号については、起立採決の結果、起立多数で不採択となりました。（請願第1号において「不採択」となったことに対する賛否である。）

上記以外の議案については、全会一致で可決されました。（p4～p5 参照）

## 賛否表（平成 27 年 6 月定例会議）

議案・議提・請願・陳情		議員名（議席番号順）															
		松下大生	四宮祐司	高木幸次	米崎賢治	池淵彰	片田真弓	杉本勝	前川英貴	廣田和三	北野恒男	吉見勝之	武田清	出口憲二郎	安平剛之	佐野善作	宮崎欽司
第50号	小松島市特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第51号	預金保険法に定める保険事故が生じた際の公金預金保護に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第52号	小松島市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第53号	小松島市介護保険条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第54号	小松島市都市計画審議会条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第55号	小松島市風致地区内における建築等の規制に関する条例等の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第56号	徳島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少に伴う徳島県市町村総合事務組合規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議提第5号	小松島市議会委員会条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議提第6号	小松島市議会の会期等に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議提第7号	地方財政の充実・強化を求める意見書について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
※ 請願第2号	「安全保障関連法案」の慎重審議を求める意見書の提出を求める請願について	○	○	●	○	○	●	●	●	○	●	●	●	○	○	○	○
陳情第1号	地方財政の充実・強化を求める意見書の採択について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成 ●は反対 ※（議長）井村保裕は、採決には加わりません。

※ 請願第2号については、委員会において「不採択」となったことに対する賛否である。

なお、可否同数のため議長裁決により「不採択」となりました。

# 平成 27 年 9 月 定例会議 日程

全て傍聴できます。

月日	曜	開議時刻	議 事	月日	曜	開議時刻	議 事
9月4日	金	午前 10 時	開 会 (議案提出)	9月14日	月	午後 1 時	予算決算常任委員会
9月8日	火	午前 10 時	質 疑・一般質問	9月15日	火	午前 10 時	予算決算常任委員会
9月9日	水	午前 10 時	質 疑・一般質問	9月16日	水	午前 10 時	予算決算常任委員会
9月10日	木	午前 10 時	質 疑・一般質問	9月17日	木	午前 10 時	予算決算常任委員会
9月11日	金	午前 9 時	総務常任委員会	9月24日	木	午前 10 時	予算決算常任委員会
		午後 1 時	文教厚生常任委員会	9月25日	金	午前 10 時	予算決算常任委員会
9月14日	月	午前 9 時	産業建設常任委員会	9月29日	火	午前 10 時	議 決・散 会

発行／小松島市議会 議長 井村保裕

## ふれあい市議会コンサート

6月12日、定例会議の一般質問初日に本会議場において、スティールバンド「バンドル」のメンバー 2 人によるスティールパンの演奏があり、心地よい音色が議場に響きわたりました。(次回ふれあいコンサートは 9 月 8 日です)



出演者募集中！お問合せは議会事務局 (32-1359) まで

編集／議会広報特別委員会 委員長 前川英貴

### 議会情報公開制度による開示状況 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

昨年度の議会情報公開制度の実施状況を報告します。

昨年度は、開示請求は 0 件でした。

情報開示請求の方法などお問い合わせは議会事務局 (32・1359) まで

### 編集後記

このたび、委員各位のご推挙により委員長を仰せつかりました。委員長の要職を十分に果たすことができるとは心配ではありますが、今日まで諸先輩方が築いたスタイルを尊重しつつも、斬新な誌面づくりに努めてまいりたいと思います。

議会だよりは、市民と議会を結ぶパイプ役として重要な役割を持っています。議会を傍聴に來られない市民のためにも、議会審議の内容をつぶさに、しかもより早くお知らせすることが議会広報特別委員会の使命であると考えます。

これからも、市民に読まれ、また、親しまれる広報誌づくりに一層の努力をしていく所存でございます。

委員長 前川英貴

### 編集委員

前川英貴 委員長  
米崎賢治 副委員長  
佐野善作 委員  
吉見勝之 委員  
片田真弓 委員  
廣田和三 委員  
四宮祐司 委員  
松下大生 委員